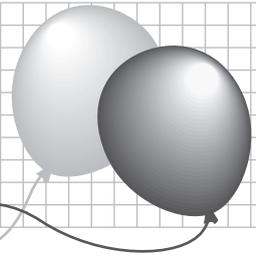


話題の広場



中央会事業 より

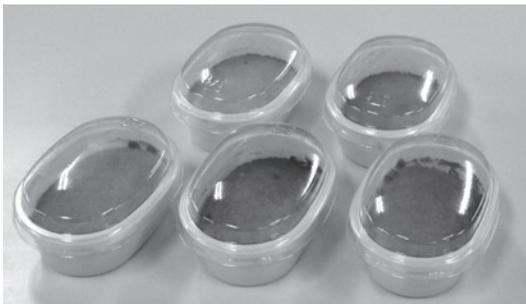
採択商品を首都圏でPR!

本会で実施している首都圏攻略プロデュース事業で採択した2商品(「(仮称)秋田米菓子五穀豊穰」と「(仮称)焙煎米粉かすてら」)のマーケティング調査を、昨年11月に東京都と秋田市において、実施しました。(12月号に掲載)

その調査結果により改良を行った2商品の販売促進支援を、2月18日(金)~20日(日)の3日間、東京都の「あきた美彩館」で実施します。

期間中は、「あきた美彩館」での販売会を始め、首都圏の各メディア等を訪問する「メディアキャラバン」も併せて行い、商品をPRします。

販売会とメディアキャラバンの詳しい内容については、3月号でご紹介します。



(仮称) 秋田米菓子 五穀豊穰
(北秋田名物株式会社: 北秋田市)



(仮称) 焙煎米粉かすてら
(有限会社藤倉食品: 横手市)

新会員紹介

協同組合横手環境協議会

【組合の紹介・PR】



後藤 薫理事長

平成17年10月に、市町村合併により1市5町2村が合併し、新しい横手市が発足しました。その後、平成19年に、各旧市町村において家庭系一般廃棄物の収集運搬を行っていた事業者が集まり、任意団体として横手環境協議会を発足し、今後の行政の方向性に沿いながら、いかに業界を安定的に存続させることができるかについて議論を重ねてきました。

その結果、法人組織を設立し、横手市における家庭系一般廃棄物収集運搬業務の窓口としての機能を果たすことが、行政の効率化と業界の発展に寄与できるものと考え、その組織として事業協同組合を選択し、家庭系一般廃棄物収集運搬の共同受注を中心に据えた事業を展開していくこととしました。

昨今、環境保全に関する様々な問題提起がされている中で、法令遵守のもと個々の業者が各々対応していくためには大変な労力が必要とされているのが現状です。協同の力と相互扶助の精神に基づき、経営の安定と社会的地位及び経済的地位の向上を図っていきます。

- ◆住所 横手市平鹿町浅舞字福田399番地1
- ◆代表理事 後藤 薫
- ◆出資金 1,400,000円
- ◆組合員数 14名
- ◆主な事業 一般廃棄物収集運搬の共同受注
- ◆成立年月日 平成22年12月28日

アラカバト

「ハチ公小径」のブースがグランドオープン！ ～大館市大町商店街振興組合～

大館市大町商店街振興組合(横井伸一理事長、101会員)が、商店街活性化事業計画の認定を受けて取り組んでいる多目的通路「ハチ公小径(こみち)」の飲食・物販ブースが完成し、12月17日(金)にグランドオープンしました。

当日は、大館市の同商店街区内のハチ公小径において記念セレモニーが開催され、大館ばやしが演奏されたほか、餅やお菓子が振る舞われるなど、会場は大勢の来街者で賑わいました。

営業を開始したブースは、エスニック料理店「SANA」、郷土料理店「ハチ公庵」、誰でも腕を振るえるチャレンジキッチン「1日店長の店」、軽食喫茶店「ハチ公こまち」、土産物店「HACHI」の5店です。

また、2月12日(土)、13日(日)の両日は、大館市のお祭り「アメッコ市」の開催に合わせ、5店の他に特別店舗も出店します。

横井理事長は、「地域商店街活性化法の認定を受けたことが大きな推進力となった。行政も一体となって協力してくれている。今後は、ハチ公小径を地域コミュニティの核として、お客様のニーズに合わせて進化させていきたい。グランドオープンを商店街再生の第一歩として、弾みを付け、街の賑わいに繋げていきたい。」と話しています。



各ブースが並んだハチ公小径

地域活性化貢献組合優秀組合表彰を受賞！

～協同組合秋田市民市場～

1月27日(木)、東京都のANAインターコンチネンタルホテル東京において、全国中小企業団体中央会の地域活性化貢献組合啓発・普及事業表彰式が行われ、協同組合秋田市民市場が優秀組合表彰を受賞しました。

同表彰は、地域経済の活性化に貢献している中小企業組合の取組を讃えるものです。

同組合では、生ゴミ発酵処理機を導入し、市場で毎日排出される生ゴミから堆肥を作っています。その堆肥による農産物の生産・販売の循環サイクル活動が高く評価され、受賞となりました。



(協)秋田市民市場内に設置されている生ゴミ発酵処理機

秋田財務事務所へ県内の景況を報告

1月13日(木)、財務省東北財務局秋田財務事務所の力石祐穂所長を始め、同事務所財務課の菅野直人課長、戎和孝調査官が、県内の景況を聴取するため本会に訪れました。

本会の塩田会長は、情報連絡員調査や景況調査の結果を基に県内中小企業の経済状況等を報告し、雇用情勢や財政経済政策等について懇談を行いました。



インフォメーション Information

冬季労働災害多発注意報発令中！ ～秋田労働局～

今年、特に大雪のため、雪下ろしや転倒等による災害や交通労働災害が多発しています。

以下の対策で、冬季特有災害を防ぎましょう。

- 凍結した路面等には、融雪剤を散布する等の凍結防止措置を行う。
- 急ハンドル、急ブレーキ、急発進を行わない。
- 橋の上、トンネル内、その出入り口、日陰に入る前に減速する。
- 屋根での雪下ろし作業時は、親綱の設置・安全帯の着用を行い、必ず2人以上で作業を行う。
- 雪下ろし作業時には、墜落用保護帽を着用する。
- 自然換気が不十分な場所では、発電機・エンジン等の内燃機関や練炭コンロを使用しない。
- 内燃機関や練炭コンロを使用した内部に立ち入る場合は、換気を十分行うとともに、一酸化炭素、酸素濃度を測定し、安全を確認する。

○除排雪機械の回転部分に雪等が詰まった場合は、エンジンを停止してから対処する。

○重機に接触する危険がある箇所に作業員を立ち入らせる場合は、誘導者を配置し合図により誘導させる。

詳しくは、秋田労働局安全衛生課(018-862-6683)または最寄りの労働基準監督署までお問い合わせください。

平成22年版

「中小企業組合白書」販売のお知らせ ～全国中小企業団体中央会～

全国中小企業団体中央会では、中小企業組合の今後の活動の参考にしていただくため、平成22年版「中小企業組合白書」を編纂しました。

本白書では、時代の要請の中で活動している中小企業組合の事例や、組合女性部の活動事例等を紹介しています。是非、お役立てください。

<体裁> A4版 71頁

<定価> 1冊 1,200円(消費税込、送料別)

【申し込み・お問い合わせ】

全国中小企業団体中央会 総務部

TEL 03-3523-4901 FAX 03-3523-4909



事務局訪問！

組合ティールーム

秋田県農業機械商業協同組合

専務理事 鳥居史郎さん



—仕事の内容を教えてください。

共同購買事業を始めとする各種事業のほか、業界団体である県農機公正取引協議会や県農業機械化協会の業務も行っていきます。

—今、熱中していることは何ですか？

好奇心が旺盛なので、版画や篆刻など趣味はたくさんありますが、以前から釣りが好きで、20数年前に「釣りの会」を作り、仲間と一緒に楽しんでいます。釣った魚は自分で捌きますので、普段でも時々料理をすることがあります。運動も好きで、2、3年前から始めたゴルフに熱中しており、冬場は練習場で上達を目指していますが、雪解けが待ち遠しいです。

—お仕事への心掛は？

常に、組合員の立場で物事を考えるようにしています。組合員は各々企業の規模も違いますが、組合は人と人との繋がりです。その繋がりを大切にして、どんなときでも組合員に頼りにしてもらえる組合事務局でありたいと思っています。

—組合のPRをお願いします。

世界の工業国を見ると、どの国も農業が確りしていることが共通しています。国が発展するためには、人間の基本である「食」に関わる農業の力がとても大きいと思います。組合が掲げているキャッチフレーズ「大地に夢を見る人々のために」とおり、農業機械は農業を支える大きな役割を果たしております。